

令和5年3月期 決算概要（連結）

1. 連結決算実績

（単位：億円（単位未満切捨て））

区分		R5/3期 実績 A	R4/3期 実績 B	増減		
				A - B	(A - B)/ B %	
営業収益	高速道路事業	9,373	12,952	▲ 3,578	▲ 27.6	① 表の右側の丸囲み番号について、2ページ以降に解説を記載しています。
	料金収入	7,296	6,772	523	7.7	
	道路資産完成高	2,050	6,145	▲ 4,095	▲ 66.6	
	その他	27	34	▲ 6	▲ 20.3	
	関連事業	397	344	53	15.4	
	SA・PA事業	269	212	57	27.0	
	その他の事業	127	131	▲ 4	▲ 3.2	
計	9,770	13,296	▲ 3,525	▲ 26.5		
営業費用	高速道路事業	9,402	12,872	▲ 3,470	▲ 27.0	④
	道路資産賃借料	5,158	4,715	443	9.4	
	道路資産完成原価	2,050	6,145	▲ 4,095	▲ 66.6	
	管理費用	2,193	2,011	182	9.1	
	関連事業	373	372	1	0.3	
	SA・PA事業	252	244	7	3.2	
	その他の事業	120	127	▲ 6	▲ 5.2	
計	9,775	13,244	▲ 3,468	▲ 26.2		
営業利益 (損失▲)	高速道路事業	▲ 28	80	▲ 108	▲ 135.8	⑥
	関連事業	24	▲ 27	51	—	
	(うちSA・PA事業)	17	▲ 32	49	—	
計	▲ 4	52	▲ 56	▲ 108.6		
経常利益		16	79	▲ 63	▲ 80.0	
当期純利益 ※1		3	66	▲ 62	▲ 94.1	⑩

※1 「当期純利益」には、「親会社株主に帰属する当期純利益」を記載しています。

（注）当社グループの事業区分及びその主要内容は、以下のとおりです。

事業区分	主要内容	
高速道路事業	高速道路の新設、改築、維持、修繕、災害復旧その他の管理等	
関連事業	SA・PA事業	高速道路の休憩所、給油所等の建設、管理
	その他の事業	受託事業、駐車場事業、トラックターミナル事業、コンサルティング事業等

※文中の丸囲み番号は、1 ページの表の右側に記載の番号と対応しています。

2. 連結決算実績の解説

(1) 高速道路事業

① 管内の高速道路の通行台数は、対前期 7.8%増の 293 万台/日となり、料金収入は、対前期 523 億円 (7.7%) 増の 7,296 億円となりました。

〔 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和 2 年 3 月期と比較すると、通行台数は 2.7%減、料金収入は 339 億円 (4.3%) 減となっています。 〕

②③ 道路資産完成高は、E1A 新名神高速道路 6 車線化事業の一部完成 (甲賀土山インターチェンジ～甲南インターチェンジ) などがありましたが、E55 徳島南部自動車道 (徳島ジャンクション～徳島沖洲^{おきのす}インターチェンジ) の開通などがあった前期からは 4,095 億円減の 2,050 億円となりました。

なお、道路資産完成高は、道路建設にかかった経費と同額の債務を独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構 (以下「高速道路機構」といいます。) に引き渡すため、道路資産完成原価と同額となり、営業利益に影響しません。

④ 高速道路機構に対する道路資産賃借料は、対前期 443 億円増の 5,158 億円となりました。

⑤ 管理費用は、前期に比べて安全・安心のための構造物補修費用の増加、電気代高騰及び雪氷対策費用等の増加により対前期 182 億円増の 2,193 億円となりました。

⑥ 高速道路事業の営業利益 (損失▲) は、対前期 108 億円減の▲28 億円となりました。

(2) 関連事業

⑦ S A・P A の飲食物販店舗売上高は、対前期 208 億円 (32.6%) 増の 849 億円となり、S A・P A 事業の営業収益は、対前期 57 億円増の 269 億円となりました。

〔 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和 2 年 3 月期と比較すると、S A・P A の飲食物販店舗売上高は 113 億円 (11.8%) の減となっています。 〕

⑧⑨ S A・P A 事業の営業利益は、対前期 49 億円増の 17 億円、関連事業全体では対前期 51 億円増の 24 億円となりました。

(3) 全事業

⑩ 当期純利益は、対前期 62 億円減の 3 億円となりました。

【参考1】 個別決算実績

(単位：億円 (単位未満切捨て))

区分		R5/3期 実績 A	R4/3期 実績 B	増 減	
				A - B	(A - B)/B %
営業収益	高速道路事業	9,357	12,933	▲ 3,576	▲ 27.7
	料金収入	7,298	6,774	523	7.7
	道路資産完成高	2,050	6,145	▲ 4,095	▲ 66.6
	その他	9	13	▲ 4	▲ 31.4
	関連事業	175	154	21	13.7
	SA・PA事業	98	79	19	24.8
	その他の事業	76	75	1	2.0
	計	9,532	13,087	▲ 3,554	▲ 27.2
営業費用	高速道路事業	9,396	12,869	▲ 3,472	▲ 27.0
	道路資産賃借料	5,158	4,715	443	9.4
	道路資産完成原価	2,050	6,145	▲ 4,095	▲ 66.6
	管理費用	2,188	2,009	179	8.9
	関連事業	166	166	▲ 0	▲ 0.3
	SA・PA事業	90	91	▲ 0	▲ 0.3
	その他の事業	75	75	▲ 0	▲ 0.4
	計	9,563	13,036	▲ 3,473	▲ 26.6
営業利益 (損失▲)	高速道路事業	▲ 39	63	▲ 103	▲ 162.4
	関連事業	9	▲ 12	21	—
	(うちSA・PA事業)	7	▲ 11	19	—
計	▲ 30	50	▲ 81	▲ 160.0	
経常利益(損失▲)		▲ 9	83	▲ 93	▲ 111.8
当期純利益(損失▲)		▲ 10	79	▲ 90	▲ 113.1

【参考2】 令和6年3月期業績予想

(単位：億円)

区分		連 結			個 別
		R6/3期 予想 A ※1	R5/3期 実績 B ※2	増 減 A - B ※2	R6/3期 予想 ※1
営業収益	高速道路事業	15,638	9,373	6,264	15,638
	料金収入	6,351	7,296	▲ 945	6,351
	道路資産完成高	9,287	2,050	7,236	9,287
	その他	—	27	▲ 27	—
	関連事業	512	397	114	295
	SA・PA事業	274	269	3	100
	その他の事業	238	127	110	195
	計	16,150	9,770	6,378	15,933
営業費用	高速道路事業	15,634	9,402	6,231	15,634
	道路資産賃借料	4,205	5,158	▲ 953	4,205
	道路資産完成原価	9,287	2,050	7,236	9,287
	管理費用	2,142	2,193	▲ 51	2,142
	関連事業	488	373	115	285
	SA・PA事業	256	252	3	91
	その他の事業	232	120	111	194
	計	16,122	9,775	6,347	15,919
営業利益 (損失▲)	高速道路事業	4	▲ 28	32	4
	関連事業	24	24	▲ 0	10
	(うちSA・PA事業)	18	17	0	9
	計	27	▲ 4	31	14
経常利益		35	16	18	10
当期純利益		27	3	22	7

※1 億円未満は四捨五入で表示しています。

※2 億円未満は切り捨てで表示しています。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。